

懸想屋里長

けそうやりちよう

車引

くるまびき



これを
花里へ
頼んだよ

5

江戸

ここは
吉原へと
続く道

懸想屋里長

外記様

今日も
文使いは
男女の痴話を
運ぶ

そして俺は

里長さんあんな
大変だあ!

文を

手紙を
落とすしち
まったあ

今日も女郎の
手紙を代筆する

ええ



それが
俺の生業だ

終



忘れてねえか
幸坊
俺は女郎の代筆屋だぜ

逆は無理だ
第一に筆跡が
わからねえ

で
とまん。

落とした手紙は
よりもよって
客からの
ものだったと



幸吉さんへ

お返事を
必ずもらって
きなんしょ



素直に花里に
謝っちまいな

うう

そうは
いかねえよー
里長さん



手紙の主は
花里についてる
一番の上客
なんだ

その方の手紙を
なくしたなんて
言えるかよ

里長さあんな
おいらはいつも
無理を聞いて
るだろう

手紙の文句が出ねえからって
おいらをさんさん
待たせて

品川の向こうまで
走ったこともあったぜ

わかったよ

テメエの首が
かかってんなら
仕方がねえ

本当かい？

旦那さん
お会いに
なるのかい？

幸坊
明日その若旦那の
御店に行くぞ！

いや何か
筆跡がわかる物を
見つけに行くのだ

うおー！！
かゝるぞー！！

つまんねえ
な…





花見にでも
行く気分だな



里長さん
見ねえ!



傾国の城か…

ここから見る
吉原はまるで
お城のようだね



何か安心しちゃうんだ
里長さんが一緒だと

頼りに
された
もんだぜ



俺は
お前のことは
信用してるんだ



なんで若旦那の
手紙だけ
無くしたのだ？



しかし
よりにも
よって



だから
助けようと
思っているが

今度っから
人を変えることも
考えるぜ

文使いが
こんなことを
やらかすんなら

風に飛ばされ
たんだ！
本当だよ



若旦那は
粹なお方で
気が利いて
たいそう
モテるん
だってな



女物の根付け



ちいん

はっ



わあ
どっから見ても
お坊ちゃんだ

「ハカ」



まあ
いや

どうだい
その通人の
お仲間
ちつとは
見えてかい？



いったい何者なのか
本当に謎だよ...

里長さんこそ
信用はできるが

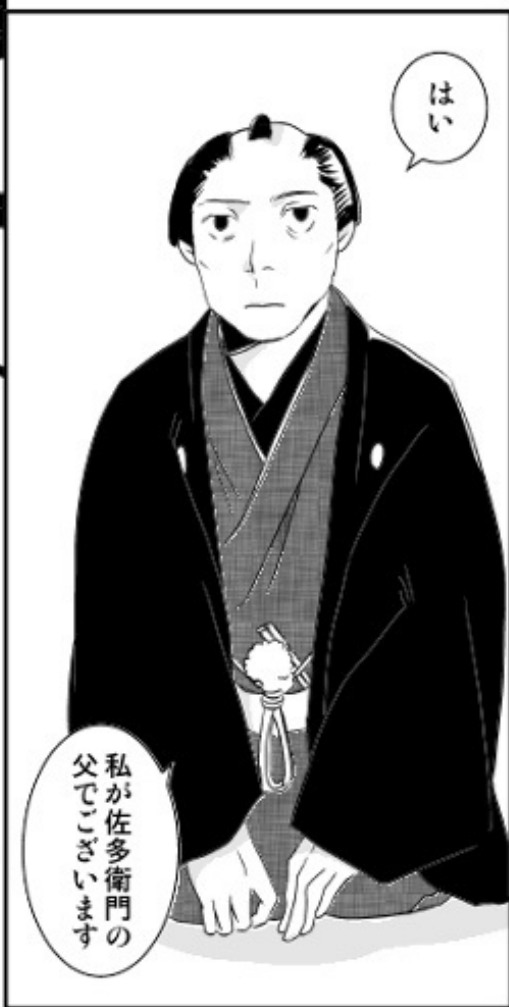


まあ
わざわざ
訪ねて
来て頂いて

部屋は
こちらです



行方しれず
なつてから
そのままに
してあります



はい

私が佐多衛門の
父でございます





恋文の手本になぞと考えるからだ

あぁっ

まあ確かに



だから開いてみたところをびゅーっと風が吹いてさ

そうか…じゃあその根付けの娘にあてた手紙は書けずじまいか



待ち合わせ場所が書いてあったとか…

女郎がどこへ行くっていうんだよ



単なる手紙じゃあなかったのかもな

心中か やっぱり心中



里長さあんな

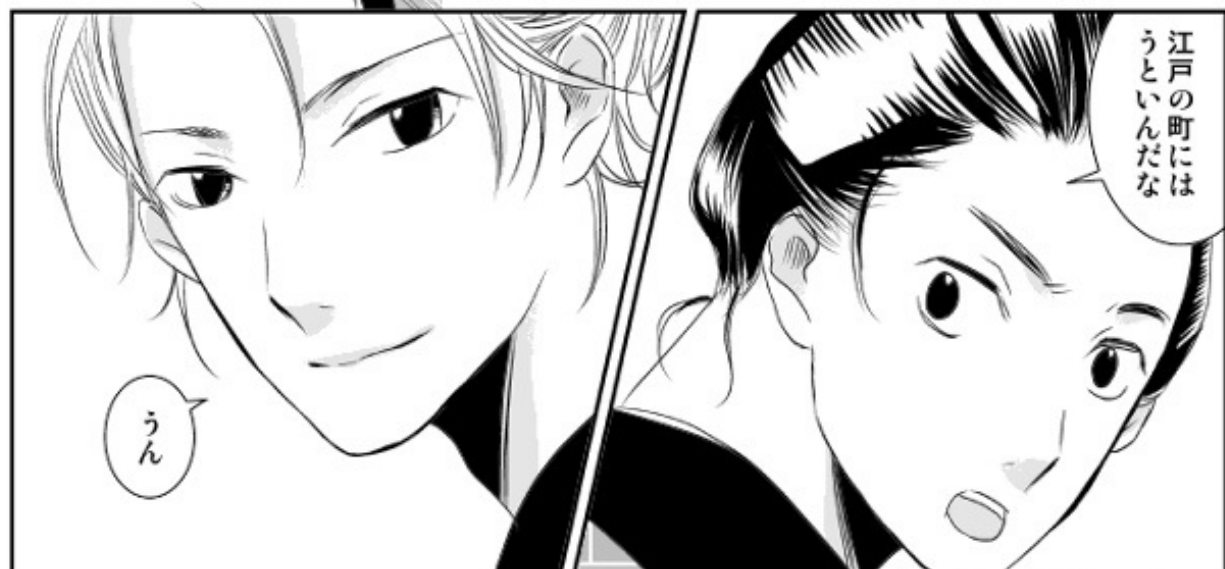


たとえば九郎助稲荷前とかで…

加サ

加サ

普通に部屋で待ち合わせればいいじゃねえか





幸坊も連れて
来て…

まさか
吉原でも
噂になってるとか？

さあ…



お父上も
たいそう心配なさって
おいでです

どこにいるのか
知っていたら
教えては
いただけませんか



女将さんわたしは
吉原と縁を切った
わけではないよ

いえ
これは
幸吉が勝手に
詮索していることで

わたしは
単なる付き添い
でしてね

やあやあ



だからね
ちよっと江ノ島に
行ったのだよ

弁天小僧の

知ってかい？
美しいところだね

そこに行くなんて
親父殿に叱られた
後だから
まさか言えるわけ
ないだろう

わたしは
ずるずる
だらだら
するのが
嫌いでね

花里とも
もう一年に
なるのかな

あ
あの…

そろ／＼
いい頃だと
思ってる

これでも
江戸っ子
なのかしらん

そうそれが
うっかりでね
花里に会いに行く約束の日と
かぶってしまったさ

幸坊や

わたしを心配して
くれて
うれしいよ

花里は
切っても
お前は
切るまい

若旦那
それよりも
父上と母上が
大層心配
なさっていますから

早くお帰りに

ああそうだ
奉行所に届け
られては大変

幸坊とその連れの方
おいで

ぶ

何だく??

ゼー

ゼー

あんたたちの
手柄に
してあげよう

おお
佐多衛門!



父上母上
申し訳ございません
死のうとしたわたしが
バカでございました

この者たちが
止めてくれ
なければ
わたしは今頃...



めでたし
どころか

余計に
最悪じゃ
ねえか!

んー



結局若旦那に
いいようにされた
だけだったな

いや!

俺たちは
何のために
御店に行ったの
だろう



何書いてんだい?

後始末



勘当か死んだかどっちがいい？

死んだはあんまりだよ

私の息子
佐多衛門は
放蕩がすぎて
勘当をいたしました
今後一切
手紙など
送られませぬよう
佐多衛門 父



これで
若旦那は
無一文…

死んでほしいわ